

十六総合研究所 提言書 『これからの地域医療』発刊のお知らせ

株式会社十六総合研究所（社長 佐竹達比古）は、かけがえのない地域の暮らしを、将来にわたりいっそう明るいものにしていくためには、地域における医療提供体制が持続可能であることが重要であると考え、2023年春より約1年をかけて、地域医療の調査・研究を続けて参りました。その結果をとりまとめた提言書『これからの地域医療』を本日発刊いたしました。

少子高齢化の進展や疾病構造の変化、医療技術の進歩などにより、わが国の医療を取り巻く情勢は大きく変化しています。本書では、地域医療の現状や課題、医療体制が抱える諸問題などに触れ、目指すべき医療の姿と、進められている改革や取り組みを、インタビューや事例を交えて紹介するほか、看取りや人生会議（ACP）に関するwebアンケートの結果を考察し、それらを踏まえた提言を行っています。

※提言書の概要は「概要版」をご参照ください。 ■ 概要版は [こちら](#)

本提言書の執筆にあたっては、岐阜大学医学部附属地域医療医学センター一長の牛越博昭教授にアドバイザーを委嘱しており、巻末には、牛越教授と弊社社長佐竹との特別対談「地域医療：地域社会を支える医療の今について」を掲載しております。



提言書『これからの地域医療』について

- ・価格： 本体 1,000 円+税
- ・販売場所： 2024年4月18日より順次販売開始
Amazon等ネット書店、三省堂書店岐阜店、三省堂書店名古屋本店*、大垣書店岐阜高島屋店*、丸善岐阜店、カルコス（本店・各務原店・穂積店）、TSUTAYABOOKSTOREカラフルタウン岐阜、岐阜大学生協*、ブックスアイオー（高山市）*、好文堂本店（揖斐川町）*、岐阜新聞社出版室
 - ・上記にかかわらず、取寄せ注文は国内いずれの書店でも可能です。
 - ・*の書店は、配送の都合で販売開始が4月19日以降になる場合があります。
- ・ページ数： 178 ページ
- ・編著： 株式会社十六総合研究所 編集委員会
- ・発行： 株式会社岐阜新聞社
- ・構成
 - 第1章： 地域医療の現状
 - 第2章： 三位一体改革
 - 第3章： アンケート 看取りと人生会議
 - 第4章： 地域医療問題への対応
 - 第5章： 提言
 - 第6章： 特別対談（岐阜大学医学部附属地域医療医学センター長 牛越博昭教授）